東日本大震災後に福島県内の仮設住宅で生活する子どものメンタルヘルス (2)

—小中学生の日常生活におけるストレス反応とポジティブ感情—

○岡安孝弘¹・三浦文華² (非会員)・三浦正江³(1 明治大学文学部、² 銀座山崎メンタルクリニック・³ 東京家政大学人文学部)

キーワード: 仮設住宅在住の子ども, ストレス反応, ポジティブ感情

Mental Health of the Children Living in the Temporary Housing Complex in Fukushima after the Great East Japan Earthquake (2)

Takahiro OKAYASU¹, Ayaka MIURA^{2#} and Masae MIURA³(1 School of Arts and Letters, Meiji Univ., ^{2#} Ginza Yamazaki Mental Clinic, ³ Faculty of Humanities, Tokyo Kasei Univ.)

Key Words: children living in temporary housing complex, stress responses, positive emotion

目 的

一連発表の(1)において、原発事故の影響により福島県内の仮設住宅に住んでいる児童は、いじめや遊びに関するストレスの経験頻度が多く、家族や塾・習い事に関するポジティブイベントの経験は少ないことが示され、ストレスフルな環境下で生活することを余儀なくされている状況にあると思われる。本発表では、そのような環境で生活している小中学生のストレス反応およびポジティブ感情について、福島県内の自宅、首都圏にそれぞれ在住している小中学生と比較した。

方 法

調査対象

1. 原発地域から避難して福島県内の仮設住宅、借上げ住宅に在住の小学4—6年生28名(男子17名, 女子10名, 不明1名), 中学生1—3年生10名(男子4名, 女子6名)。
2. 福島県内小学校1校に在籍する自宅在住の小学4—5年生106名(男子587名, 女子45名, 不明3名)。
3. 埼玉県内の小学校1校に在籍する小学4—6年生321名(男子156名, 女子163名, 不明2名), 中学校1校に在籍する中学生1—3年生530名(男子258名, 女子270名, 不明2名)。

調査時期・手続き

東京家政大学倫理委員会の承認を受けた手続きに基づき、2013年11月中旬から2014年2月下旬に無記名式で実施した。

調査内容

ストレス反応: 児童生徒が日常生活で感じているストレス反応を調べるために、PSI (パブリックヘルス・リサーチセンター版ストレスインベントリー (坂野・岡安・嶋田, 2007)) を使用した。「身体的反応」「抑うつ・不安」「不機嫌・怒り」「無気力」の4つの下位尺度 (小学生用各3項目, 中学生用各4項目) から構成されており、4段階 (0—3) で自己評定を求めるものである。

ポジティブ感情: 児童生徒が日常生活で感じているポジティブ感情を調べるために、橋本・村上 (2011) によるポジティブ感情尺度から「快感情」と「リラックス感」の2つの下位尺度 (各4項目) を使用した。各項目について4段階 (0—3) で自己評定を求めるものであり、小中学生とも同じ項目表現のものを使用した。

結果と考察

小学生

ストレス反応: Figure 1は居住地ごとにPSIの各下位尺度の平均得点を示したものである。いずれも仮設居住児童の得点が高い傾向にあり、「無気力」においては埼玉県内の児童に比べて有意に高得点であった ($p < .05$)。

ポジティブ感情: 快感情は仮設居住児童の得点が高より少し低く、リラックス感情は福島県内の児童が他より高い得点であったが、統計的な有意差は認められなかった。

中学生

ストレス反応: Figure 2は居住地ごとにPSIの各下位尺度の平均得点を示したものである。「身体的反応」と「抑うつ・不安」では仮設居住生徒の得点が埼玉県内の生徒に比べて高い傾向にあったが、統計的な有意差は認められなかった。
ポジティブ感情: 「快感情」「リラックス感」とともに仮設居住の生徒の得点が埼玉県内の生徒よりも高い傾向にあったが、統計的な有意差は認められなかった。

以上の結果から、仮設住宅に住んでいる児童生徒のストレス反応は他の児童生徒に比べて全体的に高い傾向にあった。また、他の居住地の児童生徒との比較では、小学生では「不機嫌・怒り」「無気力」が、中学生では「身体的反応」「抑うつ・不安」が他の居住地よりも高い傾向にあり、小学生と中学生との間にストレス反応の質的な相違がみられた。仮設住宅に住んでいる児童生徒のメンタルヘルスの問題に理解を深めるために、この相違の原因はどこにあるのか、ストレスやソーシャルサポートなど、ストレス反応に影響を及ぼす要因との関連性を含めて、詳しく検討する必要がある。

Figure 1 小学生の居住地別ストレス反応得点

Figure 2 中学生の居住地別ストレス反応得点